

博物館だより



No.87

平成25年7月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL 0930-33-4666

第18回

小学生歴史たんけん 作文コンクール作品募集!

文化の「みやこ」コンコンコングン

楽しみがいっぱいの夏休み。小学生の皆さんは何をして遊びますか?水泳・キャンプに旅行やスポーツなどなど...考えるワクワクしますね。

でもせっつかくの長い夏休み、遊んでばかりじゃもったいないですよ。自分たちの住んでいる町や地域の歴史を調べたり、おじいちゃん・おばあちゃんから昔の話を聞いたりして、夏休みだからこそできる「歴史たんけん」にチャレンジしてみませんか?
みなさんが調べた歴史のことを作文にまとめて下さい。

◎小学5、6年生なら誰でも応募できます。

◎自分たちの住む町や地域の歴史、おじいちゃん・おばあちゃんに聞いた昔の話、歴史の本を読んだ感想、旅行先で調べた歴史など「歴史」に関することなら内容は何でもOK!

◎作文は400字詰め原稿用紙3枚から5枚程度にまとめてください。

応募作品の送付方法

下記の送り先へ個人または学校単位で作品を郵送または持参してください。作品には必ず、氏名・学校名・学年をはっきり書いてください。

送り先

〒824-0121

京都府みやこ町豊津1122-13
みやこ町歴史民俗博物館内
作文コンクール担当あて

締切日

平成25年9月20日(金)必着

結果発表

平成25年10月下旬。最優秀賞・優秀賞には賞状・賞品(図書カード等)を、応募者全員に記念品をさしあげます。

表彰

受賞者は、10月6日に、みやこ町中央公民館(みやこ町役場犀川支所隣り)で開催される歴史文化レッツ特別講演会で表彰します。



お知らせ

この作文コンクールと共に「絵画コンクール」も実施します。詳しい内容は次号でお知らせします。

不動VIII

向井澄男写真展

当館では、7月23日(火)から、故向井澄男さんの写真展を開催いたします。

向井澄男さんは、長年にわたり京築地方の自然や風物を撮り続けた写真家です。平成15年に74歳で亡くなりましたが、平成18年にご遺族より数万点に及ぶ遺作が寄贈されました。以後、毎年1回「不動」の共通タイトルをつけ、向井さんの写真展を開催しています。8回目の開催となる今回のテーマは、「食をめぐる風景」。ぜひご来館ください。

■会期 7月23日(火)から8月25日(日)まで

■会場 当館展示室

■観覧料 常設展の観覧料で観覧いただけます。大人200円・高校生以下100円

当館後援事業
みやこ町郷土史研究会主催

「ふるやの歴史を語る」

第1回講座のお知らせ

来る7月6日、みやこ町郷土史研究会が主催し、当館が後援する講座「ふるやの歴史を語る」(第1回)が開催されます。この講座は、みやこ町郷土史研究会が今年度から始める新企画の事業で、「誰でもみんな講師」をモットーに実施されるものです。聴講希望の方は、お気軽にご来場ください。

●日時 平成25年7月6日(土) 14時~16時

●場所 みやこ町中央公民館(犀川支所隣り)視聴覚室

●講師 みやこ町郷土史研究会 会員 木村尚典氏

●演題 「古城さんと七夕祭り」

みやこ町犀川内垣出身の書家で漢学者の吉原古城(よしかわごせい)についてのお話です。

●その他 聴講料無料、申込不要



▲竹の子採り(平成7年4月・旧勝山町にて撮影)

みやこの歴史発見伝 66

馬ヶ岳城跡

豊前地方屈指の中世城郭・巨大城郭遺構

2014年の注目スポット？ 京都平野を制する城

2014年のNHK大河ドラマが「軍師官兵衛」に決まり、主人公・黒田官兵衛ゆかりの地に注目が集まっています。みやこ町にも官兵衛ゆかりの史跡や伝承地があり「みやこ町を全国にPRする絶好のチャンス」とばかりに、関係者の間ではゆかりの地の発掘と顕彰・PR活動が熱気を帯びています。

そんな熱い想いを応援すべく今回は官兵衛ゆかりの地でも第1級のランキング間違いなし！と見込まれる史跡・馬ヶ岳城跡をご紹介します。

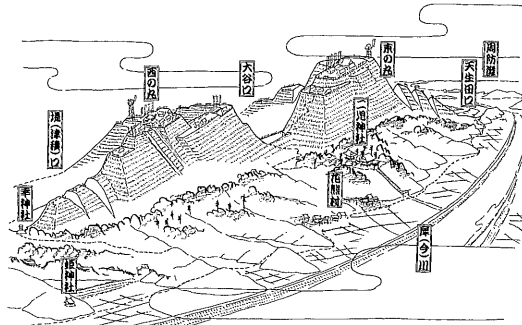
馬ヶ岳城跡はみやこ町犀川花熊と行橋市大谷・西谷地区との境に聳える馬ヶ岳（標高約216m）の山上一帯にあります。馬ヶ岳は京都平野に西から突き出した岬のような形状のため、平野全体を展望でき、ここに城を構える者は、自ずとこの平野の支配権を握ることになりました。このため、この地に覇を唱えようとする者は必ずこの城を目指し、古来名だたる英雄たちの治乱興亡が繰り返されました。以下大きく伝説の時代、史実の時代に分けて馬ヶ岳城を手に



▲馬ヶ岳城跡遠望(犀川地区から)



▲馬ヶ岳城跡からの展望(京都平野を望む)



▲往時の馬ヶ岳城の様子(イメージ復元イラスト)

した人々をご紹介します。

●伝説の時代(平安〜南北朝)

- ①源経基
平将門・藤原純友の乱を鎮め、清和源氏の祖となる。神告により馬ヶ岳城を築いたという
- ②源為朝
鎮西八郎の名で知られる暴れ武者。剛弓の名手として有名
- ③緒方惟栄
「平家物語」に大蛇の子と紹介された反平家九州武士団の長
- ④新田義基
南朝の忠臣・新田義貞の一族とされ北九州の南朝方を束ねた

以上は、史実としての確認はできないものの、それをほうふつとさせる軍記物の有名人たちによる争いがあったとする、拠点城郭ならではの伝説です。

●史実の時代(室町〜江戸)

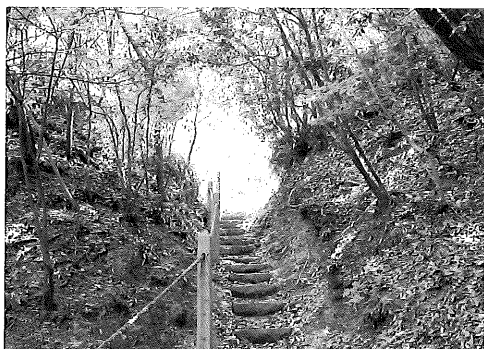
- ①大内義興
足利10代将軍・義隆を支え、西の京・山口の繁栄を築いた
- ②大友義鎮(宗麟)
豊後のキリシタン大名。北九州の覇権を巡り毛利氏と争つ
- ③毛利元就
三本の矢で知られる中国の太守。大友氏と城の争奪戦を展開



▲馬ヶ岳城跡・本丸跡にある新田氏表忠碑(顕彰碑)

天正十五年(1590)三月、九州征伐に伴い入城、一泊した以上は教科書やゲームに必ず登場する戦国の英雄のうち、この地で奮戦したことが裏付けられる人々ですが、その最後に登場するのが黒田官兵衛です。

彼は秀吉の九州征伐で初めて10万石超の大名になり、現在のみやこ町を含む豊前六郡を与えられてこの城を手に入れました。



▲馬ヶ岳城内に残る防御遺構(堀切=塹壕遺構)

た。しかし、その後待っていたのは秀吉の強権的な支配に反対する地生えの国人・城井谷に拠る宇都宮鎮房を中心とした国衆一揆でした。ゲリラ戦に持ち込まれた官兵衛らは、城井谷で2度の大敗を喫し、このままでは失政の責めを問われての切腹も免れぬと考え、宇都宮鎮房を中津城で謀殺し、一族郎党を討ち取りました。

その後の支配は順調に進んだようですが、官兵衛らにとっては苦しい思い出の城となったようで、この頃の記録はあまり見当たりません。

とはいえ、この城の京都平野の要としての地位は不動で、山中には今もその頃を含む歴戦の痕跡が残っています。皆さんも一度おでかけになってみてはいかがですか？

(木村達美)